# 株主通信
## 第90期中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

**株式会社ジャックス**

証券コード：8584

## ごあいさつ

取締役会長(代表取締役)CEO
**板垣 康義**

取締役社長(代表取締役)COO
**山﨑 徹**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、この度の新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い収束と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

ここに、株式会社ジャックス第90期(2020年4月1日～2021年3月31日)中間報告書をお届けいたします。

皆様には、より一層のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 第90期第2四半期経営成績と通期見通しについて

第90期第2四半期累計期間の連結業績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも国内事業は比較的堅調に推移しましたが、海外事業での損失が響き、増収減益となりました。国内事業では、クレジット事業やカード・ペイメント事業を中心に取扱高は減少したものの、これまで割賦利益繰延残高、信用保証残高を積み上げてきたことで、営業収益は増加しました。一方、海外事業では増収を確保したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により減益となり、特にインドネシアでは、断続的に社会活動が制限されるなど大きな影響を受けています。人材、財務、システム面における国内でのサポート体制をいっそう強化し、海外事業の再構築を進めていきます。

また、費用面では、取扱高の減少に連動して販管費が減少したものの、海外を中心とした貸倒関連費用およびインドネシア通貨ルピア安による金融費用の増加を主因に、前年同期比で増加しました。

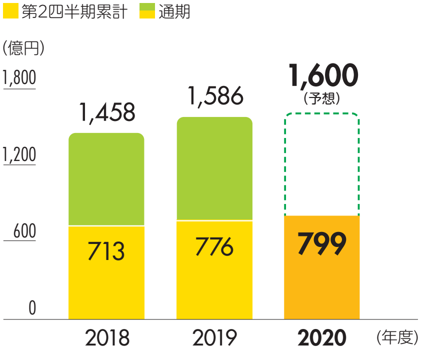
これらの結果、営業収益は799億円（前年同期比3.0%増）、経常利益は54億円（同38.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は47億円（同16.6%減）となりました。

中期経営計画「RAISE 2020」の最終年度となる第90期は、海外事業での新型コロナウイルス感染症の影響を主因として増収減益の見通しとなっていますが、さまざまな施策の効果を最大限に発揮し、計画の達成に向けて取り組んでいきます。また、生産性の向上や働き方改革といった取り組みを一層加速し、持続的な成長を目指します。

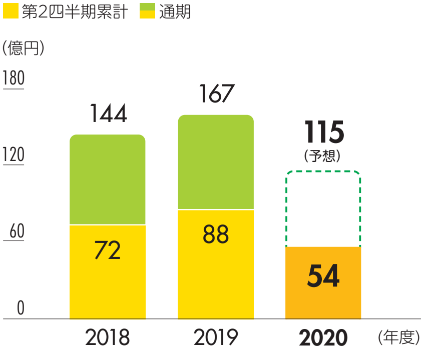
当期の連結業績は、営業収益1,600億円、経常利益115億円、親会社株主に帰属する当期純利益90億円を予想しています。

当期の中間配当は、1株当たり45円とさせていただきました。期末配当も1株当たり45円とし、年間配当は90円を予定しています。

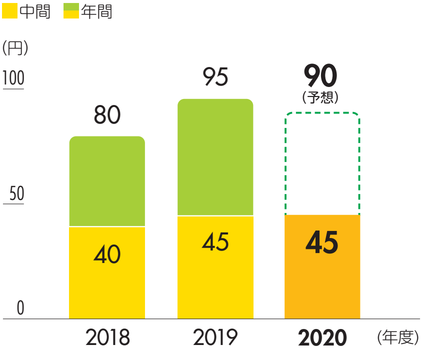
### 連結営業収益




### 連結経常利益




### 配当



## ●連結決算ハイライト

| 損益状況（各年度の4月1日～9月30日） | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|
| 取扱高（百万円） | 2,488,664 | 2,395,061 |
| 営業収益（百万円） | 77,683 | 79,988 |
| 経常利益（百万円） | 8,834 | 5,415 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益（百万円） | 5,644 | 4,708 |
| 配当金（円） | 45 | 45 |

| キャッシュ・フロー（各年度の4月1日～9月30日） | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円） | △244,251 | △51,116 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円） | △6,743 | △5,231 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円） | 223,497 | 118,570 |

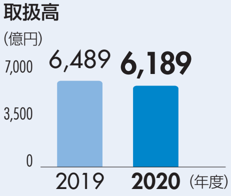
| 財政状態 | 2020年3月31日時点 | 2020年9月30日時点 |
|---|---|---|
| 総資産（百万円） | 4,231,590 | 4,386,318 |
| 純資産（百万円） | 162,889 | 164,925 |

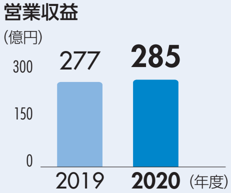
## 事業部門別の概況（個別） 各年度の4月1日～9月30日

### クレジット事業

ショッピングクレジットは、住宅関連商品やパソコン購入などの利用が堅調に推移しましたが、個人消費の低迷により取扱高・営業収益が減少しました。

オートローンは、新車販売の低迷や昨年の消費税増税にともなう駆け込み需要の反動により、取扱高が減少しました。営業収益は、割賦利益繰延残高の積み上げによって増加しました。

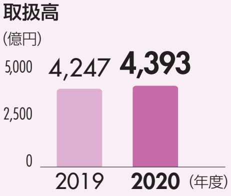


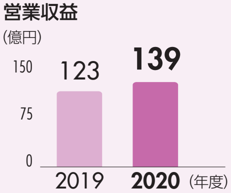




### ファイナンス事業

投資用マンション向け住宅ローン保証は、コロナ禍で提携先の引渡し戸数が大きく減少したものの、取扱いシェアが拡大し、取扱高・営業収益が増加しました。

銀行個人ローン保証は、個人消費の低迷にともない取扱高が減少しましたが、株式会社ジェーシービーから事業を承継した効果により営業収益は増加しました。



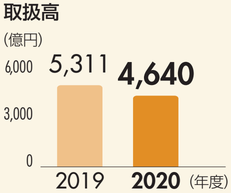



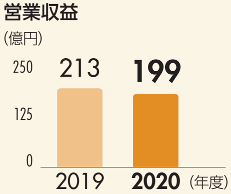

### カード・ペイメント事業

#### カード分野

カードショッピングは、コロナ禍での消費の落ち込みに加え、昨年の消費税増税にともなう駆け込み需要の反動により、取扱高・営業収益が減少しました。

カードキャッシングは、会員数の減少や資金需要の低下により、取扱高・営業収益が減少しました。

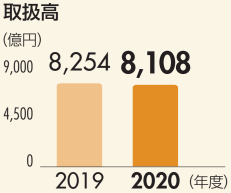


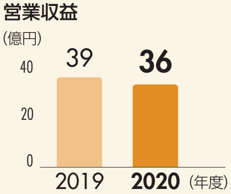




#### ペイメント分野

家賃決済は、コロナ禍で転居などを見送る動きがあったものの、経済活動の再開とともに主要提携先を中心に新規の申し込みが徐々に回復し、取扱高・営業収益が増加しました。

集金代行は、緊急事態宣言の発令にともない主要提携先であるスポーツクラブやスクールなどの施設が休業したことが大きく影響し、取扱高・営業収益が減少しました。



# TOPICS

## デジタル化の促進

### デジタル技術の活用を加速

　全社横断的なデジタル戦略を迅速かつ着実に進め、デジタルトランスフォーメーション（DX）による新しい価値を提供していくために、2020年10月に「DX推進部」を新設しました。DXを推進することで、グループ全体での持続的な成長を目指します。

　当社は、これまでもさまざまなデジタル技術を導入してきましたが、データやデジタル技術をさらに効率よく活用することで、業務のデジタル化を加速し、生産性のさらなる向上を図ります。また、お客様や提携先様にとって利便性の高い商品・サービスを提供するとともに、社内外での連携強化や協業などによるビジネスモデルの変革を進めます。

## 働き方改革

### 福利厚生を評価する「ハタラクエール」を受賞

　当社は、2020年6月に福利厚生表彰・認証制度実行委員会が運営する「ハタラクエール」において、総合評価でトップ5の企業に贈られる「優良福利厚生法人・総合」を受賞しました。従業員とその家族の生活の安定を目的としたさまざまな手当てや、配偶者の転勤や介護にともない勤務地を変更できるプランなど、各種制度の充実に取り組んできたことが評価されました。

　従業員一人ひとりが心身ともに健康な状態で、安心していきいきと働ける環境づくりが持続的成長の基盤であるとの認識のもと、大きく変化しているビジネスや生活スタイルに合わせた働き方改革をさらに推進していきます。

ハタラクエール2020
受賞トロフィー

## 利便性の向上

### 最適なメニューをスマートに表示

当社は、お客様が便利に安心して商品やサービスを利用できるよう、お客様のニーズに合わせたコンテンツの提供や各種商品の開発、サービスレベルの向上に取り組んでいます。

2020年7月には新たにビジュアルIVR※を導入し、スマートフォンでのお客様サポートサービスを開始しました。お問い合わせ内容に合わせた最適なメニューを画面に表示することで、素早く、簡単に照会することができます。今後も、アクセス状況を分析して表示項目の最適化などを進め、お客様満足度のさらなる向上に努めていきます。

※スマートフォンなどでIVR（音声自動応答システム）と同様のガイダンスを実現するプラットフォーム。

ビジュアルIVRを利用したスマートフォン画面

### AI技術で変わるカスタマーセンター

2019年3月にカスタマーセンターにAI（人工知能）技術を活用した応答支援システムを導入し、オペレーターの業務効率と回答精度が大きく向上しています。同システムの回答支援の正答率は99%を超え、新人オペレーターの研修期間も約4割削減されるなど、お客様の満足度向上と現場の生産性向上の双方を実現しています。

また、2020年5月にはIBMが発表した「Women Leaders in AI 2020※」において、AI技術導入時に高いリーダーシップを発揮し、カスタマーセンターの業務変革を推進したことが評価され、全世界で数百を超える対象の中から、当社社員が12カ国35名の受賞者の1名に選出されました。

※業界や国・地域を問わず、AI技術を活用し、自らの企業・機関の革新や成長、変革において先駆者的な取り組みを行った女性を表彰するもの。
詳細はQRコードからご覧ください。

受賞者に送られた賞状とメダル

## 会社概要/株式の状況 (2020年9月30日現在)

### 会社概要

| | |
|---|---|
| 商号 | 株式会社ジャックス |
| 設立年月日 | 1954年6月29日 |
| 資本金 | 161億3,818万円 |
| 本店所在地 | 北海道函館市若松町2番5号 |
| 本部所在地 | 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号<br>恵比寿ネオナート |
| 従業員数 | 2,779名 |

### 株式の状況

| | |
|---|---|
| 発行可能株式総数 | 78,910,000株 |
| 発行済株式総数 | 35,079,161株 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主数 | 7,745名 |

大株主の状況

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---|---|
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 7,015 | 20.28 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 2,228 | 6.44 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,545 | 4.46 |
| ジャックス共栄会 | 1,462 | 4.22 |
| 第一生命保険株式会社 | 1,359 | 3.93 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 1,275 | 3.68 |
| ジャックス職員持株会 | 943 | 2.72 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口9) | 858 | 2.48 |
| 日本生命保険相互会社 | 588 | 1.70 |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 564 | 1.63 |

(注)1.持株比率は、自己株式(488千株)を控除して計算しております。
2.持株数及び持株比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

## 株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主確定基準日 | 期末配当　毎年3月31日<br>中間配当　毎年9月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>TEL 0120-232-711(通話料無料)<br>(郵送先)<br>〒137-8081<br>新東京郵便局私書箱第29号 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 電子公告により当社ホームページ(https://www.jaccs.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。 |

(ご注意)

1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。

3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

**株式会社ジャックス**

本部　〒150-8932　東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
TEL 03-5448-1311(代)

**当社ホームページをご覧ください。https://www.jaccs.co.jp/**

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C017928

VEGETABLE OIL INK